

2020年4月30日

<報道関係各位>

ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2020年4月30日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

ギリアド・サイエンシズ、 2020年第1四半期決算を発表

- 製品売上は55億ドル（約6,050億円*/USD=110円で換算）
- 希薄化後1株当たり利益は1.22ドル
- 非GAAPベースの希薄化後1株当たり利益は1.68ドル

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）は4月30日、2020年第1四半期の業績を発表しました。

ギリアドの会長兼最高経営責任者ダニエル・オデイ（Daniel O'Day）は、「ギリアドの第1四半期の業績には当社の持続的な進展が表れており、特に基盤事業の強みが際立っています。パンデミックがもたらす不確実性や短期的影響を乗り越える準備はできており、長期目標を達成できることを確信しています。現時点ではレムデシビルの開発に注力することに加え、当社の治療薬を必要とする患者さんへの取り組みをこれまでと変わらず継続していくこと、そのどちらにも取り組んでまいります。」と述べています。

第1四半期の業績

以下の決算は、2020年第1四半期を前年の2019年第1四半期と比較したものです。2020年第1四半期の総収入は55億ドルであり、前年同期比で5%増でした。純利益は16億ドル、希薄化後1株当たり利益は1.22ドルであり、前年同期比で21%減でした。また、非GAAPベースの純利益は21億ドル、希薄化後1株当たり利益は1.68ドルであり、前年同期比と同程度でした。

*USD=110円で換算
(1株当たりの金額を除き、単位100万)

	3ヶ月決算日 3月31日	
	2020	2019
製品売上	\$5,467	\$5,200
ロイヤルティ、契約収入などの収入	81	81
総収入	\$5,548	\$5,281
ギリアドに帰属する純利益	\$1,551	\$1,975
非GAAPベースの純利益	\$2,139	\$2,141
希薄化後1株当たり利益	\$1.22	\$1.54
非GAAPベースの希薄化後1株当たり利益	\$1.68	\$1.67

注記：2020年以降、ギリアドの決算報告では株式報酬費用を非GAAPベースの財務情報から除外せず、含めて計上しています。本変更に伴い、前期の非GAAPベースの財務情報に株式報酬費用が含まれるよう再算定しています。P.10～11の表でGAAPと非GAAPベースの財務情報の調整を行っています。

製品売上

製品売上合計は、2019年第1四半期の52億ドルに対し、2020年第1四半期は55億ドルでした。2020年第1四半期の製品売上は、米国で40億ドル、欧州で9億2,700万ドル、その他地域で5億5,100万ドルでした。なお、2019年第1四半期の製品売上は、米国で38億ドル、欧州で8億8,200万ドル、その他地域で5億2,200万ドルでした。2020年第1四半期の製品売上合計のうち推定2億ドルは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミックの影響によって、主に米国で顧客の購買行動が多様化し、また患者さんへの処方機会が増加したことに関連する収益です。

- ・ **抗 HIV 薬の売上**は、2019年第1四半期の36億ドルに対し、2020年第1四半期は41億ドルでした。この増加は、主にビクタルビ® (ビクテグラビル 50 mg/エムトリシタビン 200 mg/テノホビル・アラフェナミド 25 mg) の継続使用による高水準な販売量に加え、COVID-19 パンデミックの影響で消費者の購買行動が多様化し、また患者さんへの処方機会が増えたことによるものです。
- ・ **慢性 C 型肝炎ウイルス (HCV) 感染症治療薬の売上**は、2019年第1四半期の7億9,000万ドルに対し、2020年第1四半期は7億2,900万ドルでした。この減少は主に平均正味販売価格の引き下げによるものです。
- ・ **Yescarta® (axicabtagene ciloleucel)** の売上は、2019年第1四半期の9,600万ドルに対し、2020年第1四半期は1億4,000万ドルでした。この増加は主に欧州での販売拡大の継続によるものです。
- ・ **ベムリディ® (テノホビル・アラフェナミド 25 mg)**、**ビリアード® (テノホビル・ジソプロキシルフマル酸塩 300 mg)**、**Letairis® (アンプリセンタン 5 mg および 10 mg)**、**Ranexa® (ラノラジン 500 mg および 1000 mg)**、**Zydelig® (イデラリシブ 150 mg)**、**AmBisome® (注射用アムホテリシン B リポソーム製剤 50 mg/バイアル)** および **Cayston® (吸入剤用アズトレオナム 75 mg/バイアル)** を含むその他製品の売上は、2019年第1四半期の6億9,600万ドルに対し、2020年第1四半期は4億6,400万ドルでした。この減少は主に、**Ranexa** の後発品が2019年2月に、また **Letairis** の後発品が同年5月に上市されたことによるもので、想定内の売上減少です。

営業経費

(単位 100 万)

	3ヶ月決算日 3月31日	
	2020	2019
研究開発費	\$1,101	\$1,057
非 GAAP ベースの研究開発費	\$1,004	\$932
販売費/一般管理費 (GAAP および非 GAAP ベース)	\$1,076	\$1,030

2019年第1四半期との比較

- ・ 研究開発費および非 GAAP ベースの研究開発費の増加は主に、COVID-19 治療薬として開発中のレムデシビルの開発体制を強化したことによるもので、生産拡大および臨床試験の費用約5,000万ドルを含みます。なお、COVID-19 パンデミックの影響でその他の臨床試験が中断もしくは延期され、研究開発費が減少しており、その削減額でレムデシビルの開発体制強化費用の一部が相殺されています。
- ・ 販売費/一般管理費、および非 GAAP ベースの販売費/一般管理費の増加は、主に米国での広告費の増加によるものです。

その他収入（支出）（純額）

（単位 100 万）

	3ヶ月決算日 3月31日	
	2020	2019
その他収入（支出）（純額）	\$(158)	\$367
非 GAAP ベースのその他収入（支出）（純額）	\$125	\$170

2019 年第 1 四半期との比較

- ・ その他収入（支出）（純額）は 5 億 2,500 万ドル減少しました。これは持分証券投資における公正価値の好ましくない変動によるもので、特にギリアドによるガラパゴス NV への株式投資が影響しています。

現金、現金等価物および有価証券

2020 年 3 月 31 日時点の現金、現金等価物および市場性のある有価証券は 243 億ドル、2019 年 12 月 31 日時点では 258 億ドルでした。2020 年第 1 四半期の営業キャッシュフローは 14 億ドル、5 億ドルを返済、配当金 8 億 7,400 万ドルを支払い、13 億ドルを自己株式取得に充当しました。2020 年 3 月 31 日を経過したのち、ギリアドは、フォーティ・セブン社（以下、フォーティ・セブン）の買収に約 49 億ドルを支払いました。

企業ハイライト

ギリアドは 2020 年第 1 四半期も、企業戦略として掲げる 3 つの長期目標のそれぞれの推進に引き続き取り組みました。ギリアドの 3 つの長期目標とは、①10 年以内に 10 以上の革新的な治療薬を患者さんにお届けすること、②バイオテクノロジー企業のなかでも就職先、提携先として選ばれる企業になること、③持続的かつ責任を持って株主価値を提供することです。COVID-19 パンデミックによってさまざまな困難が生じ、レムデシビルの早期開発に全社的に注力するなかにあっても、目標達成に向け成果を上げています。

事業展開：2020 年 3 月、ギリアドはフォーティ・セブンを 49 億ドルで買収する合意に達しました。本買収により、現在複数種類の血液がんを対象とする第 Ib/II 相臨床試験下にある治療薬候補 magrolimab を獲得しました。またこの買収によって、ギリアドが注力するがん免疫療法領域において専門性を有する人材が加わることになりました。本買収は 4 月に成立し、現在ギリアドは magrolimab 開発の推進およびがん免疫療法パイプラインの強化に向けて注力しています。獲得した進行中の研究開発活動およびその他費用約 46～48 億ドル、希薄化後 1 株当たり利益 3.70～3.80 ドルは、2020 年第 2 四半期の収支に反映される見込みで、非 GAAP ベースの業績からは除外されます。

ギリアドは、事業の進展に向けてその他にもいくつかの提携契約を締結しました。セカンドゲノム社（以下、セカンドゲノム）との 4 年間にわたる戦略的提携では、炎症性疾患、線維症、その他疾患領域における、ギリアドの開発中化合物（最大 5 つ）に対して臨床反応を生じさせるバイオマーカーに加え、炎症性腸疾患治療における新しい標的および化合物候補の特定を目指します。

パイプラインの進捗：ギリアドは 2020 年第 1 四半期中、治療薬開発プログラムの進展に引き続き取り組みました。ギリアドの子会社カイト社は、再発・難治性マンツル細胞リンパ腫の細胞療法として開発中の KTE-X19 について、承認に向けて 2 つの重要なマイルストーンを達成しました。欧州では KTE-X19 の製造販売承認申請が受理され、現在欧州医薬品庁

(EMA) によって審査されています。米国では生物学的製剤承認申請が米国食品医薬品局 (FDA) に受理され、優先審査 (Priority Review) の指定を受けました。

HIV 領域に関しては、2020 年 3 月に開催された Conference on Retroviruses and Opportunistic Infections (CROI) で、既存および開発中の HIV 治療薬に関する重要なデータを発表しました。発表したデータは、HIV 感染症患者を対象とする長時間作用型治療薬として開発中の HIV-1 カプシド阻害剤 lenacapavir の新たな臨床試験結果や、ギリアドの HIV 治癒研究プログラムの一環として開発中の Toll 様受容体 7 作動薬 vesatolimod の試験データ、また HIV 治療薬ビクタルビ®や、HIV 暴露前予防適応でデシコビ®を使用した場合の追加データなどです。

適応拡大：2020 年 3 月、エプクルーサ®が、6 歳以上 (または体重 17 kg 以上) の小児 C 型肝炎ウイルス感染症患者の治療薬として FDA に承認されました。本剤は、米国で初めて小児および成人患者を対象に承認されたプロテアーゼ阻害薬を含まないパンジェノタイプの治療薬です。米国では、推定 25,000~46,000 人の小児 C 型肝炎ウイルス感染症患者がいるとされています。

役員人事：2020 年 1 月、サンドラ・J・ホーニング (Sandra J. Horning, MD) がギリアドの取締役役に就任しました。ホーニング医師は 2019 年までロシュ社 (本拠地：スイス) の Chief Medical Officer および Global Head of Product Development を務めた経歴を有し、ギリアドが企業戦略の 1 つである革新的な治療薬の開発に注力するなか、ホーニング医師が取締役として製薬業界および医薬品開発の高い専門性を発揮することが期待されます。

直近の事業活動および展望

COVID-19 への対応

レムデシビル開発の推進：ギリアドは、COVID-19 治療薬候補としてのレムデシビルの開発を加速しました。2020 年 2 月に非盲検の第 III 相臨床試験 2 試験 (通称 SIMPLE 試験) を開始、そのほか国際共同試験も現在進行中です。進行中の試験には米国国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) のプラセボ対照国際共同試験があり、さらに世界保健機関 (WHO) やフランス国立保険医学研究機構 (INSERM) もこのほど臨床試験を開始しています。

昨日 (2020 年 4 月 29 日)、NIAID は同研究所主導の臨床試験から得られた予備段階のデータで、主要評価項目を達成したことを発表しました。COVID-19 入院患者にレムデシビルを投与した場合、プラセボと比較して臨床的回復までの期間を短縮することが認められました。またギリアドも、重症 COVID-19 患者を対象にレムデシビルの 5 日間投与および 10 日間投与を評価する最初の SIMPLE 試験の主要データを発表しました。同試験では投与期間 (5 日間または 10 日間) にかかわらず、重症 COVID-19 患者において同程度の臨床的改善が認められました。

ギリアドはレムデシビルの生産拡大のため大規模な増強策を講じており、2020 年 5 月末までに 14 万人分を超える治療に相当するレムデシビルを製造できる見通しであることを発表しました。また、ギリアドは増産に向け世界各国の企業との提携を推し進めており、2020 年 12 月までに 100 万人分を超える治療に相当するレムデシビルを製造予定であることも発表しました。さらに、2021 年中には数百万例の治療相当分も製造可能な見込みです。なお、この供給予測は 10 日間投与による治療を前提としています。患者さんによってはより短い

投与期間で治療可能であることを示唆する今回の SIMPLE 試験の主要データに基づき、投与例数が拡大できる可能性があります。

社員の健康、安全、生産性へのサポート：ギリアドは社員の健康、安全、生産性を確保するための対策やリソースの提供を行い、どの国の社員もほぼテレワークに切り替えました。出勤を要する職務の社員は通勤していますが、ソーシャル・ディスタンスに関するルールを定め、清掃・衛生管理を徹底し、社員を守るさまざまな対策を実施しています。またこの期間に、社員に対する福利厚生制度を拡充しました。在宅勤務制度、一定の子育て費用を支援する制度、健康管理のための各種リソース、出勤を要する職務従事者への特別手当などがあり、さらに医師、看護師、医師助手などの医学的教育を受けている社員向けの医療ボランティア有給休暇制度を改訂しました。

地域への支援：ギリアドは、当初供給可能な 150 万回投与分のレムデシビルすべてを、既存のアクセス・プログラムや臨床試験を通じて無償で提供することを発表しました。薬事承認が得られた場合、無償提供対象をさらに拡大します。

さらにギリアドは、全世界規模の Gilead CARES (COVID-19 Acute Relief and Emergency Support) 助成基金の創設を発表しました。この基金は、COVID-19 パンデミックに起因する損失により重要なサービスの閉鎖・終了の危機に瀕する非営利団体への資金援助を目的とし、このような事態に直面する非営利団体に最高 2,000 万ドルを寄付します。ギリアドはそのほかにも、次の地域への寄付を発表しました。①ギリアドが本拠地とする米国サンマテオ郡の個人、中小企業、非営利団体に財政的支援を提供している San Mateo County Strong Fund (サンマテオ郡協力基金) に 100 万ドル、②COVID-19 パンデミックに対応して、家庭や中小企業への支援、医療従事者への救援、そのほかさまざまなサービスを提供している Mayor's Fund for Los Angeles (ロサンゼルス市長基金) に 100 万ドル。

サプライチェーンおよび治療薬へのアクセス：現在、ギリアドのいずれの製品においても製造上または供給不足に関する懸念はありません。当社は、ギリアド製品に使用する各種原材料や原薬 (API) を複数のサプライヤーから調達しています。十分な製品在庫を有しており、当面、サプライチェーンに重大なリスクや問題が発生することはないと想定しています。

臨床試験および研究：ギリアドの臨床試験および進行中の研究の継続是非を検討した結果、症例登録が完了した試験は継続、新たな試験は一時的に延期することとし、それ以外の試験については症例登録を中断することを決定しました。ギリアドは、適切な時期になれば症例登録を再開し、新たな試験を開始できるよう、間断なく取り組んでいきます。

COVID-19 の影響

2020 年第 1 四半期

製品売上合計：2020 年第 1 四半期の製品売上合計には、COVID-19 パンデミックの影響で、主に米国で顧客の購買行動が多様化し、また患者さんへの処方機会が増加したことに関連する推定 2 億ドルの収益が含まれています。第 2 四半期以降、この傾向は反転すると予想されます。

研究開発費用：COVID-19 パンデミックのため、2020 年第 1 四半期中、症例登録中断、あるいは開始を延期した臨床試験の研究開発費は減額されましたが、レムデシビルの研究開発費約 5,000 万ドルはその削減額を上回ります。

今後の展望

COVID-19 パンデミックの今後の見通し、あるいはパンデミックがギリアドの経営および事業にもたらす最終的な影響は、非常に不確実です。2020年第1四半期の業績は、COVID-19による実質的な影響を受けなかったものの、HIV感染症やC型肝炎ウイルス感染症の治療へのアクセスが減少するなどの要因により、業績への短期的な影響が考えられますが、事態の伸展による影響ははっきりしていません。また、2020年第1四半期にギリアドはレムデシビルの開発を推し進め、生産拡大を加速しました。2020年にわたり行う予定の、主にレムデシビル増産のための総投資額は重要な影響を及ぼす可能性があります。その投資にかかる金額、時期、会計処理、ならびにリスクを伴う投資を将来的に回収できる可能性については、臨床試験および製造販売承認審査の結果に影響されます。本剤が承認される世界各国の地域では、レムデシビルが政府や患者さんが入手しやすく、適正な価格となるよう努めます。COVID-19 パンデミックの影響に関する最新情報およびレムデシビルの詳細については、2020年第1四半期の業績に関するカンファレンスコールおよび資料でお知らせします。

ギリアドは COVID-19 パンデミックによる影響を引き続き注視していきます。なお、このパンデミックによる影響の期間や程度、レムデシビル開発に関して新たな情報がある場合、第2四半期決算時のカンファレンスコールで追加情報や展望についてお知らせする予定です。

非 GAAP ベースの財務情報

本文書中に記載された情報は、非 GAAP との指定がない限り、米国の一般会計原則 (GAAP) に従ってギリアドにより作成されたものです。経営陣は、運営、予算策定、財務計画を目的として社内で非 GAAP ベースの情報を使用しており、ギリアドの GAAP ベースの財務諸表とあわせて使用することで、この非 GAAP ベースの情報が投資家にとって有用なものになると確信しています。非 GAAP ベースの情報は包括的な会計規則に基づいたものではなく、GAAP に基づいて報告されたギリアドの経営実績を理解する上での補助的な資料としてのみご使用ください。非 GAAP ベースの財務情報には、買収に関連して取得した無形資産の原価償却や減損、実施中の研究開発、提携およびライセンス契約の前払金、その他特殊またはギリアドの基盤事業とみなされない項目、持分証券の公正価格調整、税関連法およびガイドラインの変更に伴う個別の課税額や優遇措置は含まれていません。ギリアドは一貫して取得した無形資産の減価償却費を非 GAAP ベースの財務情報から除外していますが、ギリアドの経営陣は、そのような無形資産は買収の一部として計上し、収益創出に継続的に寄与するものと投資家の皆様にご理解をいただくことが重要と考えております。当社の非 GAAP 指標は、同じ業界の他社のものと定義や算出方法が異なる場合があります。非 GAAP ベースの財務情報およびその比較対象となる GAAP ベースの財務情報の調整は、P.10~11 の表で行っています。

カンファレンスコール

本日 (2020年4月30日) 午後4:30 (米国東部時間)、2020年第1四半期業績について話し合い、事業の最新情報を提供するため、ギリアドの経営陣はカンファレンスコールを開催し、ウェブキャストを同時配信します。ウェブキャストのライブ配信を聴取するには、ギリアドの「Investors」のページ (<http://investors.gilead.com/>) からアクセスできます。ウェブキャストの聴取にソフトウェアのダウンロードが必要になる場合がありますので、会議開始15分前までにアクセスしてください。あるいは、877-359-9508 (米国からの場合) または 1-224-357-2393 (米国以外からの場合) に電話し、カンファレンス ID 1898512 をダイ

ヤルして会議にアクセスしてください。会議終了の約 2 時間後から 2020 年 5 月 2 日午前 11:59 (米国東部時間) まで、電話による再生が可能です。電話で再生するには、855-859-2056 (米国からの場合) または 1-404-537-3406 (米国以外からの場合) に電話し、カンファレンス ID 1898512 をダイヤルしてください。ウェブキャストはギリアドのウェブサイト www.gilead.com にアーカイブとして 1 年間保存されます。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズ・インクは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオフーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 か国以上で事業を行っています。

ギリアドの将来予想に関する記述

このプレスリリースに含まれる実績ベースではない記述は、1995 年の米国私募証券訴訟改革法の意義の範囲内で作成された将来予想に関する記述です。ギリアドでは、将来予想に関する記述は一定のリスクや不確実性の影響を受け、実際の結果が大きく異なる場合があることについて、読者に注意を促しています。そのようなリスクや不確実性として以下が挙げられます。ギリアドの事業、財務状況、業績への COVID-19 パンデミックによる影響に関連したリスクや不確実性；レムデシビルが製造販売承認を取得できず製品化されない可能性や、レムデシビルの開発と製造にかかる現時点までの費用と将来的な費用を回収できない可能性など、COVID-19 治療薬としてのレムデシビルの開発および提供に関連したリスクや不確実性；レムデシビルの現時点の想定スケジュールでの生産拡大が行えず、将来的な需要を満たせないリスク；COVID-19 による業績への悪影響やレムデシビルの開発および製品化にかかる費用増加の可能性があるにもかかわらず、2020 年度通期予算を達成するギリアドの能力；企業戦略として掲げる長期目標のいずれも進展させるギリアドの能力；抗ウイルス薬やその他治療薬プログラムにおける収益を維持または増加させるギリアドの能力；買収、提携、ライセンス契約（フォーティーン・セブンおよびセカンドゲノムに関連するものを含む）から得られる可能性のある利益を実現するギリアドの能力；現在進行している COVID-19 治療薬としてのレムデシビルの臨床試験など、臨床試験を予定どおりに開始、進展、完了するギリアドの能力；臨床試験から得られる安全性および有効性データの結果、レムデシビル、magrolimab、lenacapavir、vesatolimod など、治療薬候補のさらなる開発が保証されないリスク；新しい治療薬候補の製造販売承認申請を予定どおりに行うギリアドの能力；関節リウマチを適応症とした filgotinib の FDA による承認や、再発・難治性マンツル細胞リンパ腫を適応症とした KTE-X19 の欧州委員会（EC）による承認など、新規または既存の治療薬にかかる製造販売承認を適時に取得するギリアドの能力の有無；製品を成功裏に販売するギリアドの能力；ギリアド製品の製造およびサプライチェーンにおいて問題が発生するリスク；民間および公的保険支払者が、新製品の保険による補償や支払いの実施あるいは継続を躊躇するリスク；保険支払者が想定以上により高い割引率のセグメントに移行する可能性；後発医薬品の上市による市場シェアおよび製品価格低下の可能性；医師や患者がこれらの製品の優位性を見出せず、処方躊躇するリスク；ならびに、ギリアドが米国証券取引委員会（SEC）に提出する報告書で随時指摘するその他のリスク。さらにギリアドは、資産、負債、収益、および支出の報告金額ならびに関連する開示内容に影響する試算や判断を行います。当社は、過去の経験およびその他さまざまな市場特有の前提やギリアドがその状況下で合理的と考えるその他適切な前提に基づいて試算を行い、他の資料からは容易に読み取れない試算や負債の簿価について判断する際にその試算結果をよりどころにしています。ギリアドが現在把握しておらず、将来予想に関する

記述に記した事柄に影響を及ぼすおそれのある要因が存在し、それらの要因によって実際の結果がこのような試算と著しく異なる可能性があります。また、2020年3月31日を期末とする四半期の結果は必ずしも将来の業績を示すものではありません。これらまたはその他のリスク、不確実性、要因の詳細については、SECに提出している年次報告書（Form 10-K）、四半期報告書（Form 10-Q）、および臨時報告書（Form 8-K）等の定期報告書で説明しています。ギリアドは将来予想に関する記述に関し、1995年の米国私募証券訴訟改革法セーフハーバー条項の遵守を主張します。

将来予想に関する記述はすべて、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、法による定めのない限り、ギリアドは将来予想に関する記述を更新または補足する義務を負いません。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在、あるいは記述に明記した日付における予想です。

###

ギリアドは、以下を含め、その事業に使用する各種商標、著作権および商号を所有または権利を有しています。

GILEAD[®]、GILEAD SCIENCES[®]、AMBISOME[®]、ATRIPLA[®]、BIKTARVY[®]、CAYSTON[®]、COMPLERA[®]、DESCOVY[®]、PrEPを適応としたDESCOVY[®]、EMTRIVA[®]、EPCLUSA[®]、EVIPLERA[®]、GENVOYA[®]、HARVONI[®]、HEPSERA[®]、LETAIRIS[®]、ODEFSEY[®]、RANEXA[®]、SOVALDI[®]、STRIBILD[®]、TRUVADA[®]、PrEPを適応としたTRUVADA[®]、TYBOST[®]、VEMLIDY[®]、VIREAD[®]、VOSEVI[®]、YESCARTA[®]、およびZYDELIG[®]。

LEXISCAN[®]は、アステラス U.S. LLC 社に属する登録商標です。MACUGEN[®]は、アイテック社に属する登録商標です。SYMTUZA[®]は、Janssen Sciences Ireland UC に属する登録商標です。TAMIFLU[®]は、ホフマン・ラ・ロシュ社に属する登録商標です。本文書では、他社の商標や商号の記載も含まれています。

ギリアドに関する詳しい情報は www.gilead.com をご覧いただくか、ギリアド広報部 1-800-GILEAD-5 (1-800-445-3235) までお問い合わせください。

ギリアド・サイエンシズ
要約連結損益計算書
(未監査)

(1株当たりの金額を除き、単位 100 万)

	3ヶ月決算日 3月31日	
	2020	2019
収入：		
製品売上	\$5,467	\$5,200
ロイヤルティ、契約収入などの収入	81	81
総収入	5,548	5,281
原価・費用：		
売上原価	969	957
研究開発費	1,101	1,057
販売費/一般管理費	1,076	1,030
原価・費用合計	3,146	3,044
営業利益	2,402	2,237
支払利息	(241)	(254)
その他収入（支出）（純額）	(158)	367
税金等調整前利益	2,003	2,350
法人税等充当金	465	382
純損益	1,538	1,968
非支配持分に帰属する純損益	(13)	(7)
ギリアドに帰属する純利益	\$1,551	\$1,975
ギリアドの普通株主に帰属する基本的 1株当たり純利益	\$1.23	\$1.55
基本的 1株当たり利益の算定に用いられた株式数	1,262	1,276
ギリアドの普通株主に帰属する希薄化後 1株当たり純利益	\$1.22	\$1.54
希薄化後 1株当たり利益の算定に用いられた株式数	1,270	1,283
1株当たり現金配当	\$0.68	\$0.63

ギリアド・サイエンシズ
GAAP ベースと非 GAAP ベースの財務情報⁽¹⁾の調整
(未監査)

(パーセンテージおよび 1 株当たりの金額を除き、単位 100 万)

	3 ヶ月決算日	
	3 月 31 日	
	2020	2019
売上原価の調整：		
GAAP ベースの売上原価	\$969	\$957
買収関連の取得無形資産の原価償却	(266)	(283)
非 GAAP ベースの売上原価	\$703	\$674
製品粗利益率の調整：		
GAAP ベースの製品粗利益	82.3%	81.6%
買収関連の取得無形資産の減価償却	4.9%	5.4%
非 GAAP ベースの製品粗利益 ⁽⁴⁾	87.1%	87.0%
研究開発費の調整：		
GAAP ベースの研究開発費	\$1,101	\$1,057
提携およびライセンス契約一時金	(97)	(126)
その他 ⁽³⁾	—	1
非 GAAP ベースの研究開発費	\$1,004	\$932
営業利益率の調整：		
GAAP ベースの営業利益率	43.3%	42.4%
提携およびライセンス契約一時金	1.7%	2.4%
買収関連の取得無形資産の減価償却	4.8%	5.4%
非 GAAP ベースの営業利益率 ⁽⁴⁾	49.8%	50.1%
その他収入（支出）（純額）の調整：		
GAAP ベースのその他収入（支出）（純額）	\$(158)	\$367
有価証券の含み損益純額	283	(197)
非 GAAP ベースのその他収入（支出）（純額）	\$125	\$170
実効税率の調整：		
GAAP ベースの実効税率	23.2%	16.3%
上記の非 GAAP ベース調整額の税効果	(3.5)%	0.3%
非 GAAP ベースの実効税率 ⁽⁴⁾	19.7%	16.6%
ギリアドに帰属する純利益の調整：		
GAAP ベースのギリアドに帰属する純利益	\$1,551	\$1,975
提携およびライセンス契約一時金	75	98
買収関連の取得無形資産の減価償却	224	260
有価証券の含み損益純額	256	(191)
個別の課税額 ⁽²⁾	33	—
その他 ⁽³⁾	—	(1)
非 GAAP ベースのギリアドに帰属する純利益	\$2,139	\$2,141

ギリアド・サイエンシズ
GAAP ベースと非 GAAP ベースの財務情報⁽¹⁾の調整 (続き)
(未監査)

(パーセンテージおよび 1 株当たりの金額を除き、単位 100 万)

	3 ヶ月決算日	
	3 月 31 日	
	2020	2019
希薄化後 1 株当たり利益の調整：		
GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益	\$1.22	\$1.54
提携およびライセンス契約一時金	0.06	0.08
買収関連の取得無形資産の減価償却	0.18	0.20
有価証券の含み損益純額	0.20	(0.15)
個別の課税額 ⁽²⁾	0.03	—
非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益 ⁽⁴⁾	\$1.68	\$1.67
非 GAAP ベースの調整額のサマリー：		
売上原価の調整額	\$266	\$283
研究開発費の調整額	97	125
その他収入（支出）（純額）の調整額	283	(197)
非 GAAP ベースの税引前調整額合計	646	211
税効果	(91)	(45)
個別の課税額 ⁽²⁾	33	—
非 GAAP ベースの税引後調整額合計	\$588	\$166

注記：

- (1) 2020 年以降、ギリアドの決算報告では株式報酬費用を非 GAAP ベースの財務情報から除外せず、含めて計上しています。本変更に伴い、前期の非 GAAP ベースの財務情報に株式報酬費用が含まれるよう再算定しています。
- (2) 2019 年第 4 四半期の繰延税金負債の取り崩しを反映した金額です。海外の子会社からアイルランドおよび米国に移管された無形資産の減価償却による取り崩しです。
- (3) 再編、条件付対価に関連する金額および／またはその他個別の僅少な金額です。
- (4) 四捨五入により、合計が係数の総和と一致しない場合もあります。

ギリアド・サイエンシズ
要約連結貸借対照表
(未監査)

(単位 100 万)

	2020年3月31日	2019年12月31日
現金、現金等価物および市場性のある有価証券	\$24,314	\$25,840
売掛金（純額）	3,907	3,582
棚卸資産	2,021	2,067
有形固定資産（純額）	4,564	4,502
無形資産（純額）	13,502	13,786
のれん	4,117	4,117
その他資産	7,316	7,733
総資産	\$59,741	\$61,627
流動負債	\$8,879	\$9,759
長期負債	28,683	29,218
株主資本 ⁽¹⁾	22,179	22,650
負債および株主資本合計	\$59,741	\$61,627

注記:

⁽¹⁾ 2020年3月31日現在、発行済社外流通普通株式数は1,254百万株です。

ギリアド・サイエンシズ
製品売上のサマリー
(未監査)

(単位 100 万)

	3ヶ月決算日	
	3月31日	
	2020	2020
Atripla (米国)	\$81	\$133
Atripla (欧州)	7	16
Atripla (その他)	7	22
	95	171
Biktarvy (米国)	1,412	739
Biktarvy (欧州)	181	48
Biktarvy (その他)	100	6
	1,693	793
Complera / Eviplera (米国)	24	44
Complera / Eviplera (欧州)	47	62
Complera / Eviplera (その他)	5	9
	76	115
Descovy (米国)	363	233
Descovy (欧州)	61	68
Descovy (その他)	34	41
	458	342
Genvoya (米国)	612	728
Genvoya (欧州)	151	193
Genvoya (その他)	61	94
	824	1,015
Odefsey (米国)	269	282
Odefsey (欧州)	127	106
Odefsey (その他)	13	9
	409	397
Stribild (米国)	34	67
Stribild (欧州)	17	18
Stribild (その他)	2	11
	53	96
Truvada (米国)	383	551
Truvada (欧州)	8	33
Truvada (その他)	15	22
	406	606
その他の抗 HIV 薬 ⁽¹⁾ (米国)	3	11
その他の抗 HIV 薬 ⁽¹⁾ (欧州)	2	1
その他の抗 HIV 薬 ⁽¹⁾ (その他)	3	5
	8	17

ギリアド・サイエンシズ
 製品売上のサマリー (続き)
 (未監査)

(単位 100 万)

	3ヶ月決算日 3月31日	
	2020	2020
分配収益 - Symtuza ⁽²⁾ (米国)	\$72	\$42
分配収益 - Symtuza ⁽²⁾ (欧州)	38	24
分配収益 - Symtuza ⁽²⁾ (その他)	2	—
	112	66
抗 HIV 薬合計 (米国)	3,253	2,830
抗 HIV 薬合計 (欧州)	639	569
抗 HIV 薬合計 (その他)	242	219
	4,134	3,618
AmBisome (米国)	18	8
AmBisome (欧州)	59	57
AmBisome (その他)	42	28
	119	93
Ledipasvir/Sofosbuvir ⁽³⁾ (米国)	53	117
Ledipasvir/Sofosbuvir ⁽³⁾ (欧州)	11	27
Ledipasvir/Sofosbuvir ⁽³⁾ (その他)	48	81
	112	225
Letairis (米国)	83	197
Ranexa (米国)	8	155
Sofosbuvir/Velpatasvir ⁽⁴⁾ (米国)	311	230
Sofosbuvir/Velpatasvir ⁽⁴⁾ (欧州)	122	154
Sofosbuvir/Velpatasvir ⁽⁴⁾ (その他)	131	107
	564	491
Vemlidy (米国)	73	65
Vemlidy (欧州)	7	4
Vemlidy (その他)	56	32
	136	101
Viread (米国)	4	12
Viread (欧州)	11	14
Viread (その他)	25	46
	40	72
Vosevi (米国)	33	45
Vosevi (欧州)	11	16
Vosevi (その他)	4	2
	48	63

ギリアド・サイエンシズ
製品売上のサマリー（続き）
（未監査）

（単位 100 万）

	3ヶ月決算日 3月31日	
	2020	2019
Yescarta（米国）	\$103	\$90
Yescarta（欧州）	37	6
Yescarta（その他）	—	—
	140	96
Zydelig（米国）	8	11
Zydelig（欧州）	12	15
Zydelig（その他）	—	1
	20	27
その他 ⁽⁵⁾ （米国）	42	36
その他 ⁽⁵⁾ （欧州）	18	20
その他 ⁽⁵⁾ （その他）	3	6
	63	62
製品売上合計（米国）	3,989	3,796
製品売上合計（欧州）	927	882
製品売上合計（その他）	551	522
	\$5,467	\$5,200

注記：

- (1) Emtriva と Tybost を含みます。
- (2) Janssen Sciences Ireland UC が商業化した固定用量配合剤 Symtuza（darunavir/C/FTC/TAF）の cobicistat（C）、emtricitabine（FTC）、tenofovir alafenamide（TAF）によるギリアドの収益を示します。
- (3) Harvoni およびギリアドの子会社である Asegua Therapeutics LLC により販売された Harvoni の承認済み後発品の売上を含みます。
- (4) Epclusa およびギリアドの子会社である Asegua Therapeutics LLC により販売された Epclusa の承認済み後発品の売上を含みます。
- (5) Cayton、Hepsera、および Sovaldi を含みます。